



## 2014年度 第3四半期 連結業績の概要

チーフ フィナンシャル オフィサー  
フランソワ ロジェ

2015年 2月 5日

武田薬品工業株式会社

## 将来見通しに関する注意事項



- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制当局からの承認取得、国内外の医療保険制度改革、医療費抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の需要が得られない場合などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。



## Core Earnings

- 営業利益から、企業買収に係る会計処理や無形資産の償却費・減損損失、事業構造再編費用、訴訟費用等の要因を控除して算定(詳細はAppendix 1ご参照)

## 実質的な売上成長 & 実質的なCore Earningsの成長

- 上記のCore Earningsに係る調整項目に加えて、為替影響、製品売却、および特殊要因による影響を控除して算定

これらの指標は会計基準に基づくものではなく、内部管理目的の指標であり、監査を受けておりません。

# 目次



■ Key Highlights 第3四半期(10-12月)	P. 4
■ 売上収益	P. 5
■ 営業費用	P.14
■ Project Summit アップデート	P.16
■ 損益計算書	P.18
■ キャッシュ・フロー	P.27
■ 2014年度 ガイダンス	P.29
■ Appendix	P.32



## GROWTH

- 第3四半期の実質的な売上成長率(Underlying revenue growth)は対前期 +3.7%
    - 年間見込ガイダンス(2~4%)に沿った成長
    - 米国と欧州が牽引し、日本は向かい風
  - 第3四半期の実質的なCore Earnings成長率(Underlying Core Earnings growth)は対前期 +5.0%
- 
- ENTYVIO 米国/欧州: 164億円の売上、ポテンシャルの高さを裏付け
  - BRINTELLIX 米国: 大うつ病市場において、他のブランドより早く着実に成長
  - CONTRAVE 米国: 患者サポートプログラムによる良好な立ち上がり
  - AZILVA 日本: 力強い成長 第3四半期 対前期 +60%
  - TAKECAB 日本: 2014年12月承認、2015年3月までに上市予定

## EFFICIENCY

- Project Summitにより第3四半期80億円のコスト削減、2014年度コスト削減計画260億円以上に対し順調に進捗

## EXCEPTIONAL ITEMS

- COLCRYIS: 2014年度と中期計画に対する影響は限定的、2015年度の影響は大きくなる見込
- 試験研究費税額控除の繰延税金資産の取り崩し: 税務上の試験研究費の取扱いを国内業界一般の手法に同期

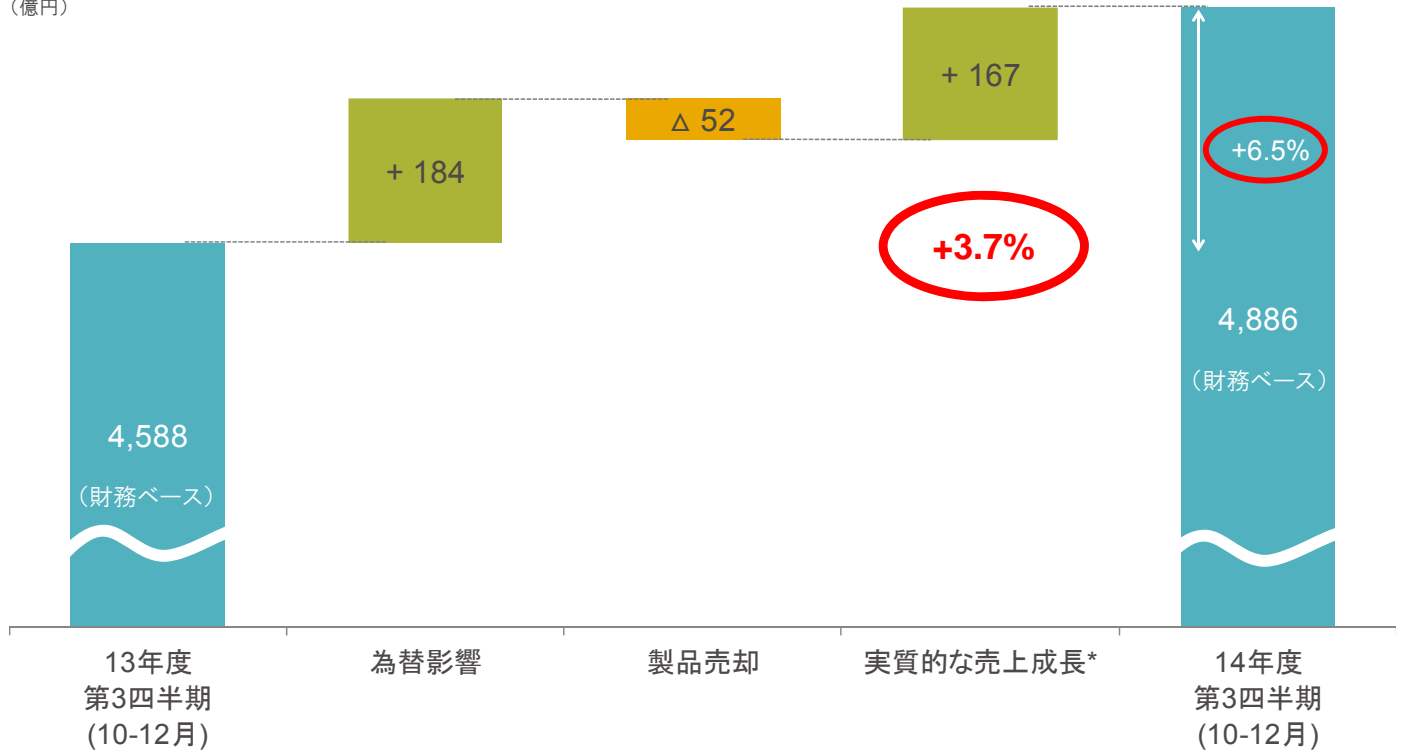


## 売上収益

# 第3四半期の実質的な売上成長率 +3.7%

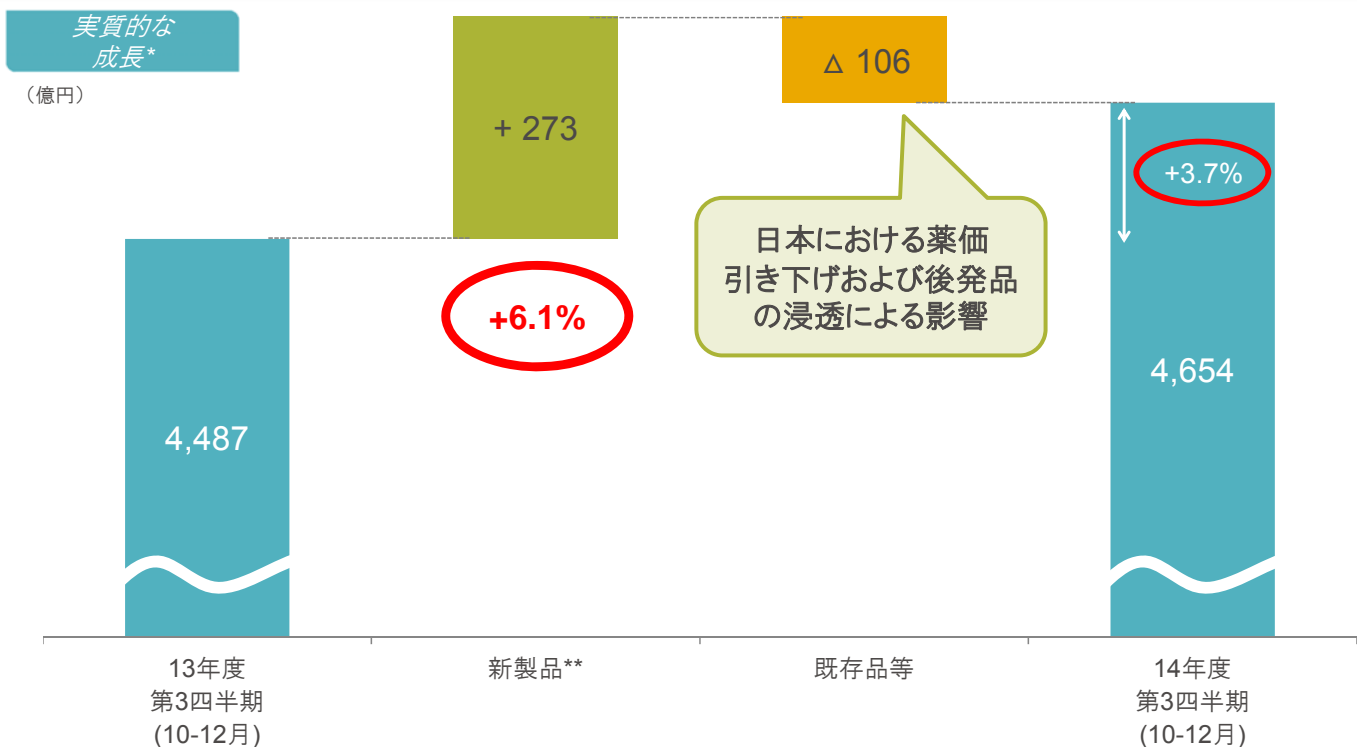


(億円)



\* 実質的な成長は、為替影響および、製品売却・企業買収・特殊要因による影響を控除して算定しています。

# 新製品の伸長が成長を牽引



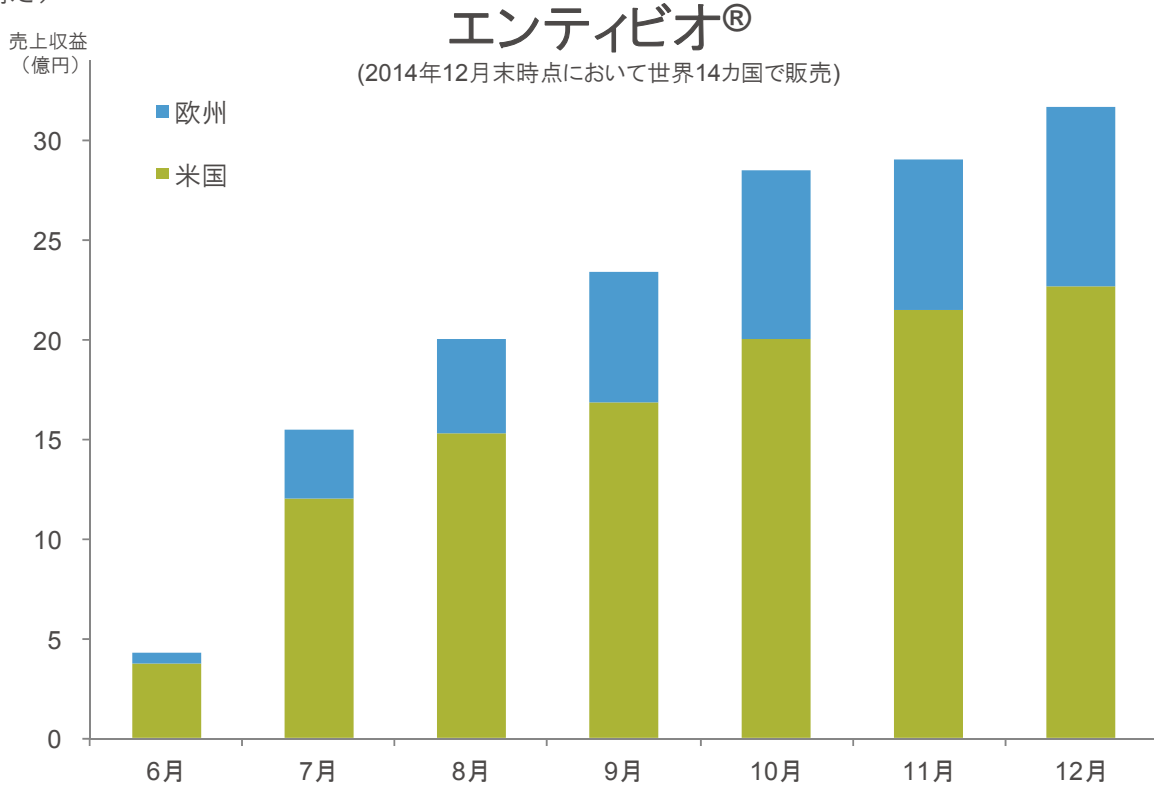
\* 実質的な成長は、為替影響および、製品売却・企業買収・特殊要因による影響を控除して算定しています。

\*\* 新製品とは、発売後5年以内の製品(既存品との合剤・剤型変更を除く)を指します(デクスラント、ユーロリック、ネシーナ、アジルバ、アドセトリス、プリンテリックス、エンティビオ、コントレブ等)。

# エンティビオ：20億ドルの売上を目指したスタート



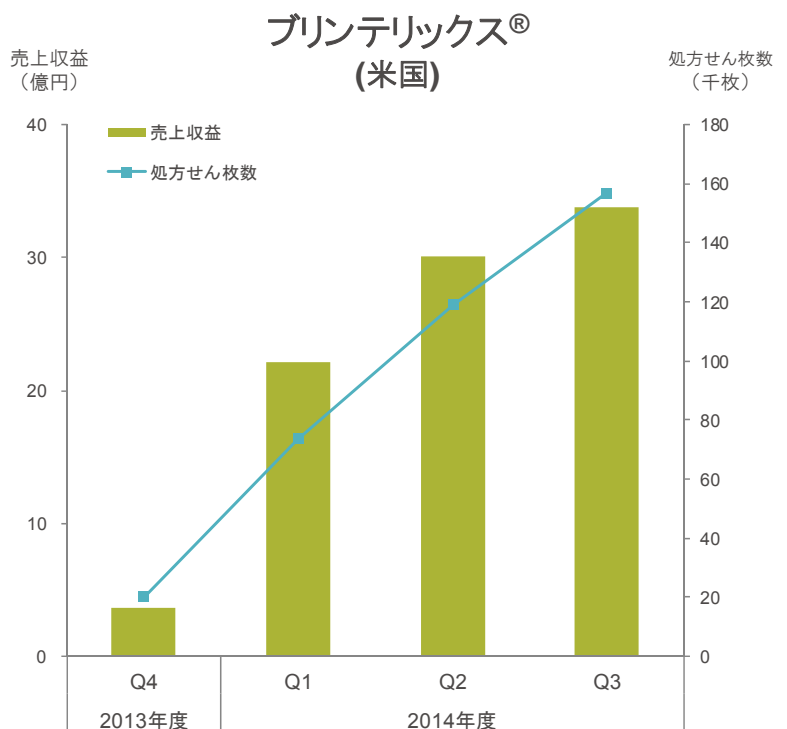
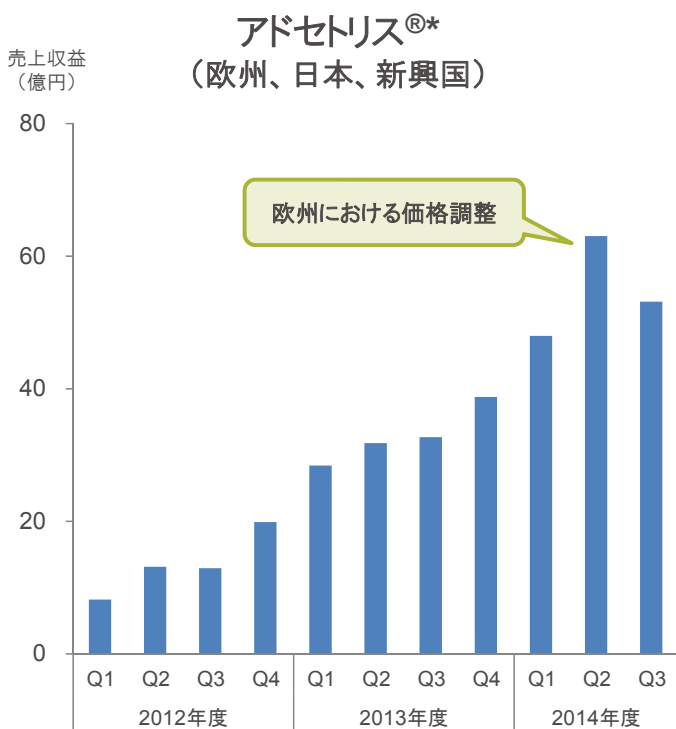
(為替影響除き)



# アドセトリスとプリンテリックスの堅調な伸長



(為替影響除き)



\* Named Patient Program (患者アクセスプログラムの一つ) による売上収益を含みます。

© IMS2014Health, Based on NPA Jan. to Dec. 2014, Reprinted with permission

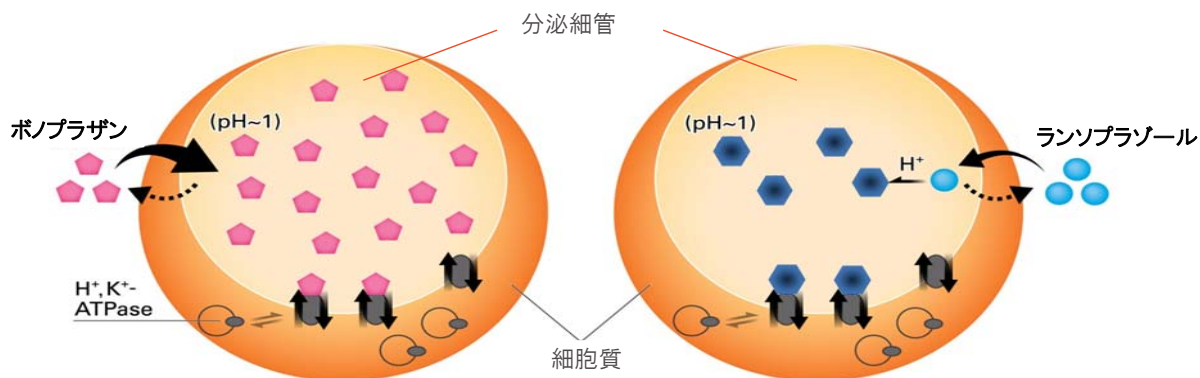
# タケキャブ®錠（ボノプラザンフマル酸塩）： 新規作用機序を有する酸関連疾患治療薬



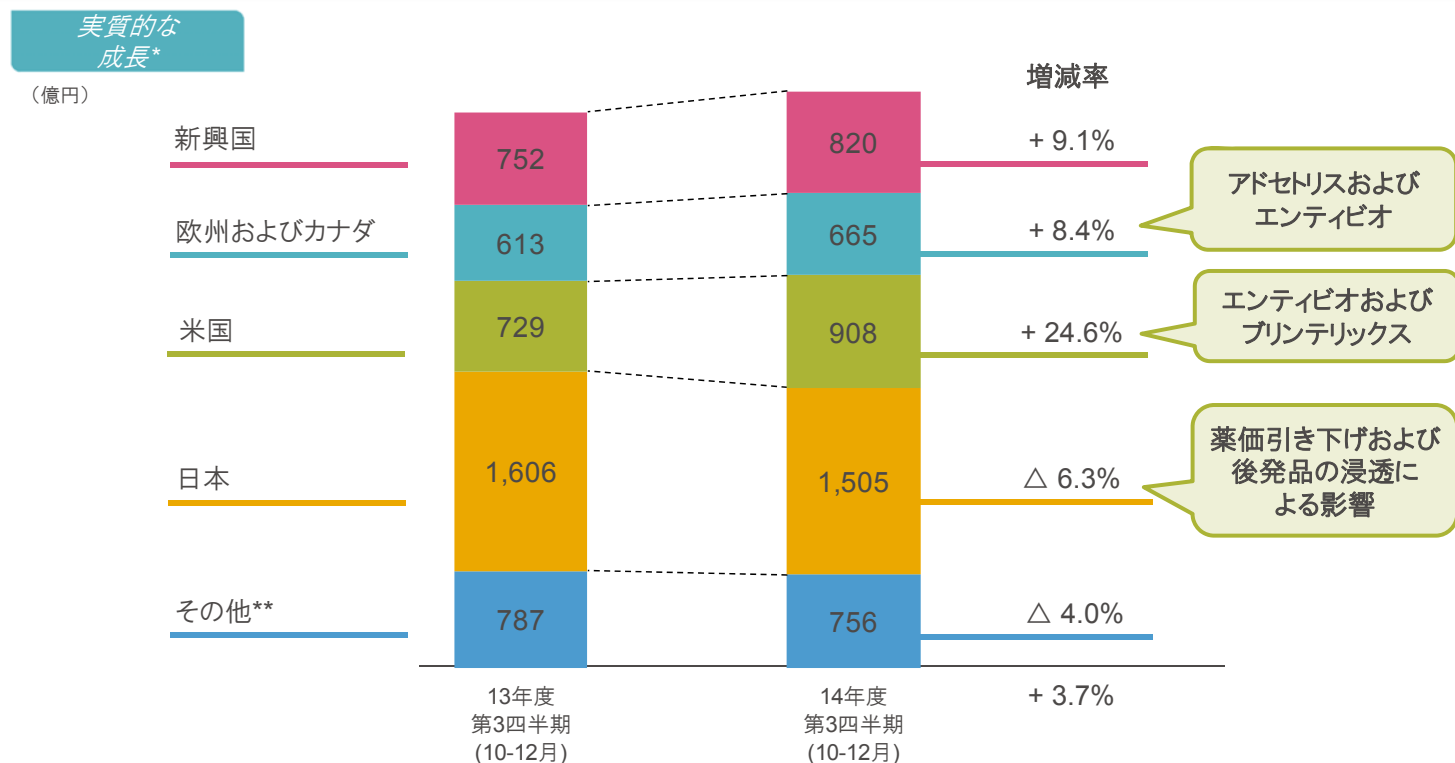
作用機序	カリウムイオン競合型アシッドブロッカー(P-CAB)
効能	酸関連疾患(日本 承認、2014年12月)

- $H^+$ ,  $K^+$ -ATPase(プロトンポンプ)を、 $K^+$ と競合的に阻害
- 速やかで強く持続的な酸分泌抑制作用
- 日本において大塚製薬と共同プロモーション

胃壁細胞に高濃度に集積し、長く留まり、プロトンポンプを阻害



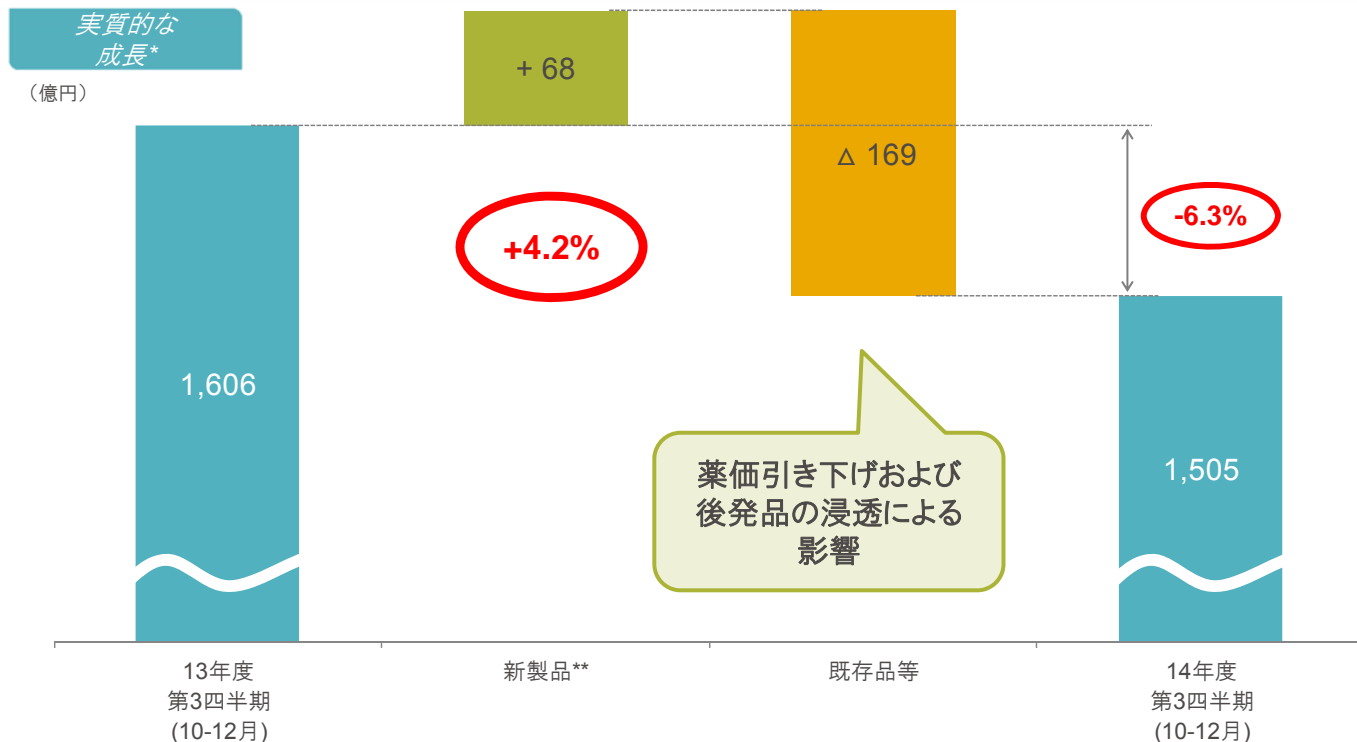
## 地域別売上収益 米国・欧州での新製品による堅調な伸長



\* 実質的な成長は、為替影響および、製品売却・企業買収・特殊要因による影響を控除して算定しています。

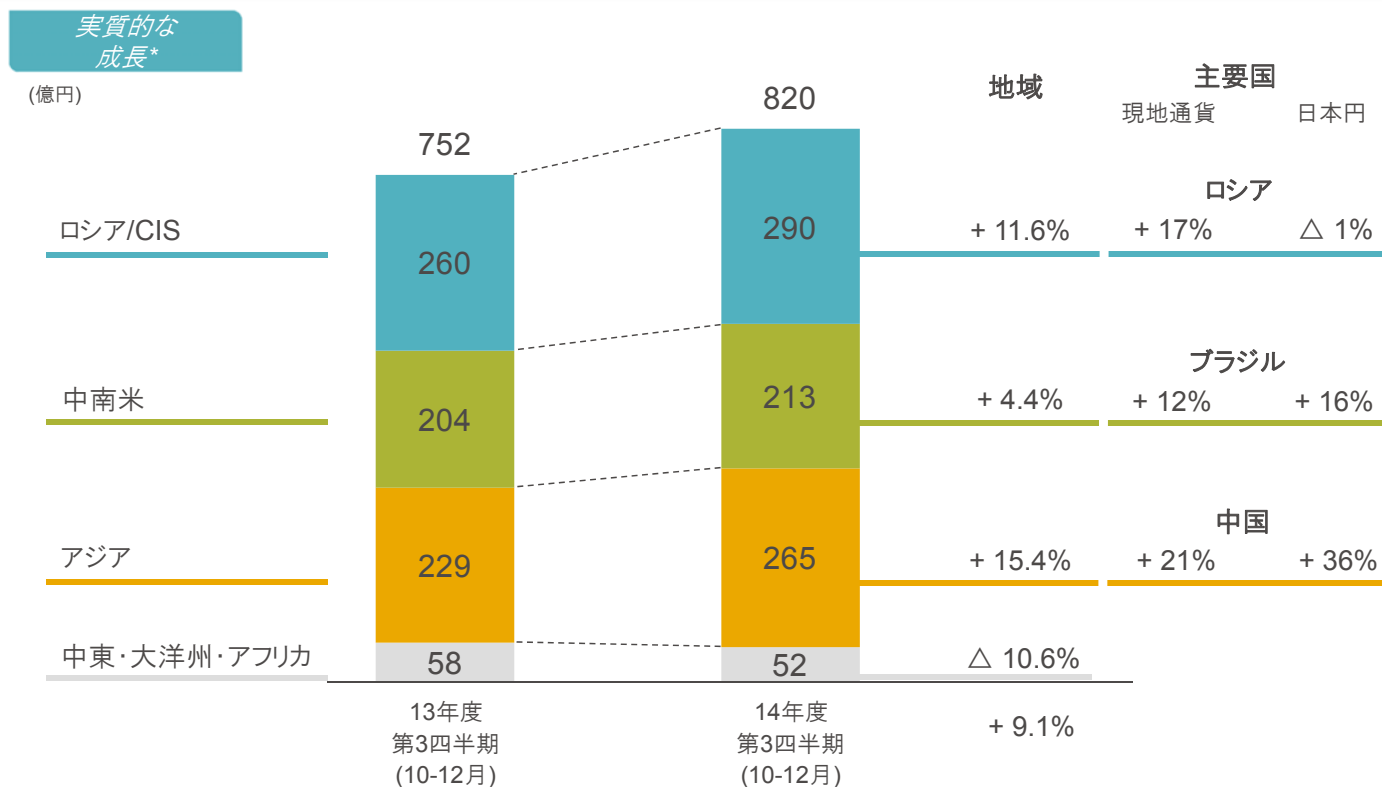
\*\* その他には、主として知的財産権収益およびヘルスケア事業が含まれています。

# (日本)薬価引き下げおよび後発品の浸透による影響が 新製品の伸長を上回る



\* 実質的な成長は、為替影響および、製品売却・企業買収・特殊要因による影響を控除して算定しています。  
\*\* 新製品とは、発売後5年以内の製品(既存品との合剤・剤型変更を除く)を指します(ネシーナ、アジルバ、アドセトリス等)。

# ロシア、ブラジル、中国にて二桁台の成長率 - ロシアでは市場の大きな需要が為替影響を軽減



\* 実質的な成長は、為替影響および、製品売却・企業買収・特殊要因による影響を控除して算定しています。



## 営業費用

## 成長に向けた資源配分：一般管理費を削減し、販売費へ投下



	増減率：2014年度対2013年度	
	第3四半期累計(4-12月)	
	財務上の増減率	実質的な増減率*
<b>販売費</b>	<b>+ 12.2%</b>	<b>+ 7.0%</b>
対売上収益比率(対前年同期増減)		23.8% (+ 1.0 pts)
<b>一般管理費</b>	<b>+ 3.9%**</b>	<b>△ 1.4%**</b>
対売上収益比率(対前年同期増減)		8.1% (△ 0.3 pts)
<b>研究開発費</b>	<b>+ 4.3%</b>	<b>△ 1.5%</b>
対売上収益比率(対前年同期増減)		18.1% (△ 0.7 pts)
<b>営業費用合計</b>	<b>+ 7.7%</b>	<b>+ 2.4%</b>
対売上収益比率(対前年同期増減)		50.0% (△ 0.0 pts)

### 新製品立ち上げへの費用投下 (エンティビオ、プリンテリックスおよびコントレイブ) Project Summitによる一般管理費の削減効果

\* 実質的な成長は、為替影響および、製品売却・企業買収・特殊要因による影響を控除して算定しています。

\*\* IRS(米国内国歳入庁)により2014年7月28日に発表された法令に基づく医療保険制度改革法にかかる費用として49億円(過年度分を含む)が、2014年度第3四半期累計の一般管理費に一時要因として計上されています。当該費用は、財務ベースの一般管理費に含まれていますが、実質的な成長率算定においては含まれておりません。





## Project Summit アップデート

## Project Summitの順調な進捗



### コスト削減額

- 第3四半期:80億円
- 第3四半期累計(4-12月):195億円
- 2014年度年間削減額目標(260億円以上)に向け順調に進捗

### コスト削減額累計 対2012年度実績

- 最初の2年間(2013-2014年度)で、600億円を超えることを想定  
5年間の累計ターゲット\*の50%以上を達成予定

### Restructuring cost

- 第3四半期累計(4-12月):125億円

\*2012年度の費用実績と比較して2013-2017年度で1,200億円削減



# 損益計算書

## Core Earningsはガイダンス通りの横ばい 営業利益は一時要因により増加



億円	第3四半期累計(4-12月) 損益計算書			実質的な成長率*
	13年度	14年度	増減	
売上収益	12,869	13,400	+ 4.1%	+ 2.4%
売上総利益	9,173	9,536	+ 4.0%	
対売上収益比率	71.3%	71.2%	△ 0.1 pts	
営業費用	(6,379)	(6,873)	+ 7.7%**	+ 2.4%**
その他収益	145	947	-	•遊休不動産売却益 +254 •コルクリス +564
その他費用 (製品に係る無形資産償却費及び減損損失を含む)	(1,172)	(1,619)	+ 38.1%	コルクリス △360
営業利益	1,767	1,991	+ 12.6%	
対売上収益比率	13.7%	14.9%	+ 1.1 pts	
調整項目	1,122	763	P.25を参照	
Core Earnings	2,889	2,754	△ 4.7%	+ 0.9%
対売上収益比率	22.5%	20.6%	△ 1.9 pts	

\* 実質的な成長は、為替影響および、製品売却・企業買収・特殊要因による影響を控除して算定しています。

\*\* IRS(米国内国歳入庁)により2014年7月28日に発表された法令に基づく医療保険制度改革法にかかる費用として49億円(過年度分を含む)が、2014年度第3四半期累計の一般管理費に一時要因として計上されています。当該費用は、財務ベースの一般管理費に含まれていますが、実質的な成長率算定においては含まれておりません。

# 純利益およびEPSは一時的要因により減少



億円	第3四半期累計(4-12月) 損益計算書			
	13年度	14年度	増減	
営業利益	1,767	1,991	+ 223	+ 12.6%
対売上収益比率	13.7%	14.9%	+ 1.1 pts	
税引前利益	1,990	1,876	△ 114	△ 5.8%
法人所得税費用	(622)	(1,052)	△ 430	+ 69.2%
当期利益	1,333	797	△ 535	△ 40.2%
EPS	169 円	101 円	△ 67 円	△ 39.9%

有価証券売却益  
△277

繰延税金資産の取り崩し  
△427

## Core EPS



億円	第3四半期累計(4-12月) 損益計算書			実質的な成長率*
	13年度	14年度	増減	
Core Earnings	2,889	2,754	△ 4.7%	+ 0.9%
対売上収益比率	22.5%	20.6%	△ 1.9 pts	
Core税率	30.5%	37.0%	+ 6.5 pts	
Core net profit	1,940	1,680	△ 13.4%	△ 1.2%
Core EPS	246 円	214 円	△ 13.1%	△ 0.8%

\* 実質的な成長は、為替影響および、製品売却・企業買収・特殊要因による影響を控除して算定しています。

# 第3四半期における主な一時的要因



- Core Earnings に対する影響は限定的

億円	コルクリス*	試験研究費控除に係る繰延税金資産**	合計
Core Earnings	△ 19	—	△ 19
営業利益	185	—	185
四半期利益	280	△ 427	△ 147

\*コルクリスに係る無形資産の減損損失を計上し、これを上回る条件付対価の取崩益を計上したことから、純損益は益影響が発生

\*\*日本における税務上の試験研究費の取扱い見直しに伴う税額控除の繰延税金資産取り崩し

## コルクリスのアップデート



- コルクリスの競合品であるコルヒチン製剤が米国で上市
- コルクリスおよび競合品のオーソライズドジェネリックがそれぞれ上市
- 2014年度**
  - ✓ 数量の減少および流通在庫の価格調整により、第4四半期に減収影響
  - ✓ その他製品の伸長により減収影響を吸収、売上収益とCore Earningsのガイダンスに変更なし
- 2015年度**
  - ✓ 数量の減少、価格の低下により、売上・利益は30～60%減少する可能性
  - ✓ 想定される影響の軽減策を検討中
  - ✓ Core Earningsは引き続き増加する見込であり、5月にアップデート予定

# 日本における税務上の試験研究費の取扱い見直しに伴う 税額控除の繰延税金資産取り崩し

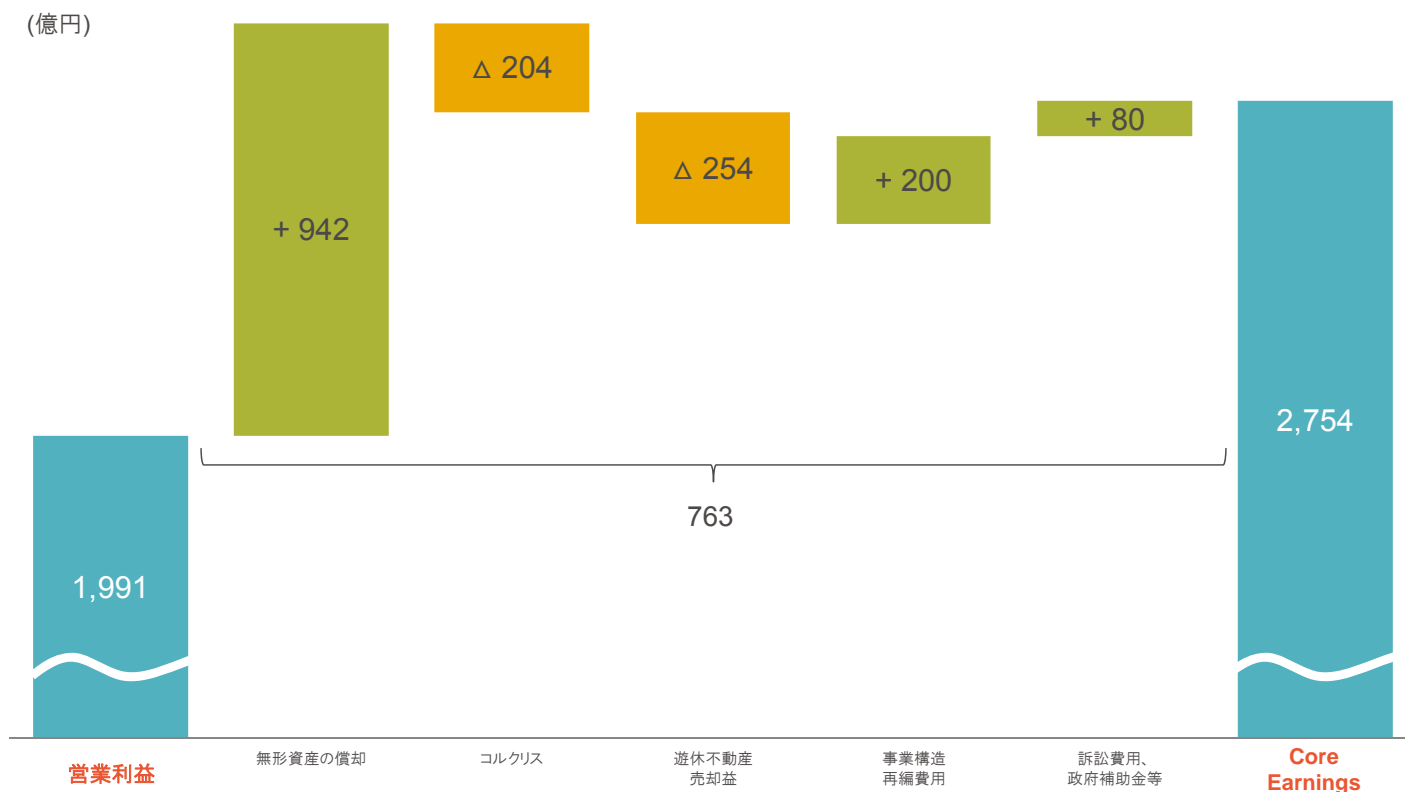


- 当社はこれまで、日本での試験研究費および試験研究費に係る税額控除について、会計上の費用計上に対して繰延税金資産を認識し、税務上は試験完了に伴い損金算入および税金の控除を行っていた。
- 今般、当社は日本において、試験研究費および試験研究費税額控除に係る繰延資産は認識せず、発生時に損金算入することとし、会計上と税務上とで同一の取扱いをすることとした。
- この取扱いは、業界で一般的に行われている税務上の手法となる。
- これにより、試験研究費の税額控除に係る繰延税金資産等427億円を当第3四半期において取り崩している。
- 業績影響:

営業利益:	なし
当期利益:	△ 427億円 (キャッシュ影響なし)
キャッシュ・フローの改善:	約300億円のプラス

Note: 当該影響はCore EPS算定においては除外されています。

## 営業利益からCore Earningsへの調整 (2014年度 第3四半期累計)



# 財務ベースの成長率と実質的な成長率の調整表（第3四半期累計）



	第3四半期累計(4-12月) 14年度対13年度							実質的な成長率
	財務ベース	調整項目		Core P/L ベースの増減率	為替影響	製品売却	特殊要因 (Pharma fee*)	
		企業買収およびライセンスに係る無形資産関連費用	遊休不動産売却・事業構造再編費用等					
売上収益	+ 4.1%			+ 4.1%	△ 2.7%	+ 1.0%		+ 2.4%
販売費	+ 12.2%			+ 12.2%	△ 5.2%			+ 7.0%
一般管理費	+ 3.9%		+ 0.1%	+ 4.0%	△ 1.0%		△ 4.5%	△ 1.4%
研究開発費	+ 4.3%	△ 0.7%		+ 3.6%	△ 5.1%			△ 1.5%
営業利益	+ 12.6%	+ 17.0%	△ 34.3%	△ 4.7%	+ 0.2%	+ 3.7%	+ 1.7%	+ 0.9%
				<b>Core Earnings</b>				

\* IRS(米国内国歳入庁)により2014年7月28日に発表された法令に基づく医療保険制度改革法にかかる費用として49億円(過年度分を含む)が、2014年度第3四半期累計の一般管理費に一時要因として計上されています。当該費用は、財務ベースの一般管理費に含まれていますが、実質的な成長率算定においては含まれておりません。



## キャッシュ・フロー



億円	第3四半期累計 (4-12月)		
	13年度	14年度	増減率
EBITDA	3,254	3,058	△ 6.0%
運転資本増減	△ 988	△ 984	△ 0.3%
固定資産の取得支出	△ 372	△ 462	+ 24.5%
無形資産の取得支出 (マイルストーン支払)	△ 186	△ 396	+ 112.7%
法人税等の支払額*	△ 835	△ 628	△ 24.8%
営業フリーキャッシュフロー	874	587	△ 32.8%

\* 法人税等の支払額は、プレバッド移転価格税制に係る還付税金、および移転価格税の事前確認(APA)の合意による日米間の税金の納付の影響を含めておりません(13年度△747億円)。



## 2014年度 ガイダンス

# 売上収益とCore Earningsのガイダンスに変更なし 第3四半期の一時要因により営業利益、当期利益の年間見通しを修正



億円	14年度			実質的な成長率*
	前回見通し (10月)	今回見通し	対前回見通し	
売上収益	17,250	17,250	—	2 ~ 4%
研究開発費	(3,500)	(3,500)	—	
営業利益	1,500	1,700	200	横ばいから微減
税引前利益	1,400	1,600	200	
当期利益	850	650	△ 200	
EPS	108 円	83 円	△ 25 円	
Core Earnings	280.0	280.0	—	
対売上収益比率	16.2%	16.2%	—	
Core net profit	180.0	180.0	—	
Core EPS	228円	228円	—	
為替レート	ドル	105円	109円	4%
	ユーロ	140円	141円	1%

\* 実質的な成長は、為替影響および、製品売却・企業買収・特殊要因による影響を控除して算定しています。

## 今後のIRコミュニケーション



### IRイベント企画(予定)

- ENTYVIO® にフォーカスした消化器系疾患(GI)領域のIRセミナー(3月9日 ニューヨーク)
- 14年度決算説明会(5月15日 東京)
- Investor Day (6月18日 東京)
- 株主総会 (6月26日 大阪)





## Appendix

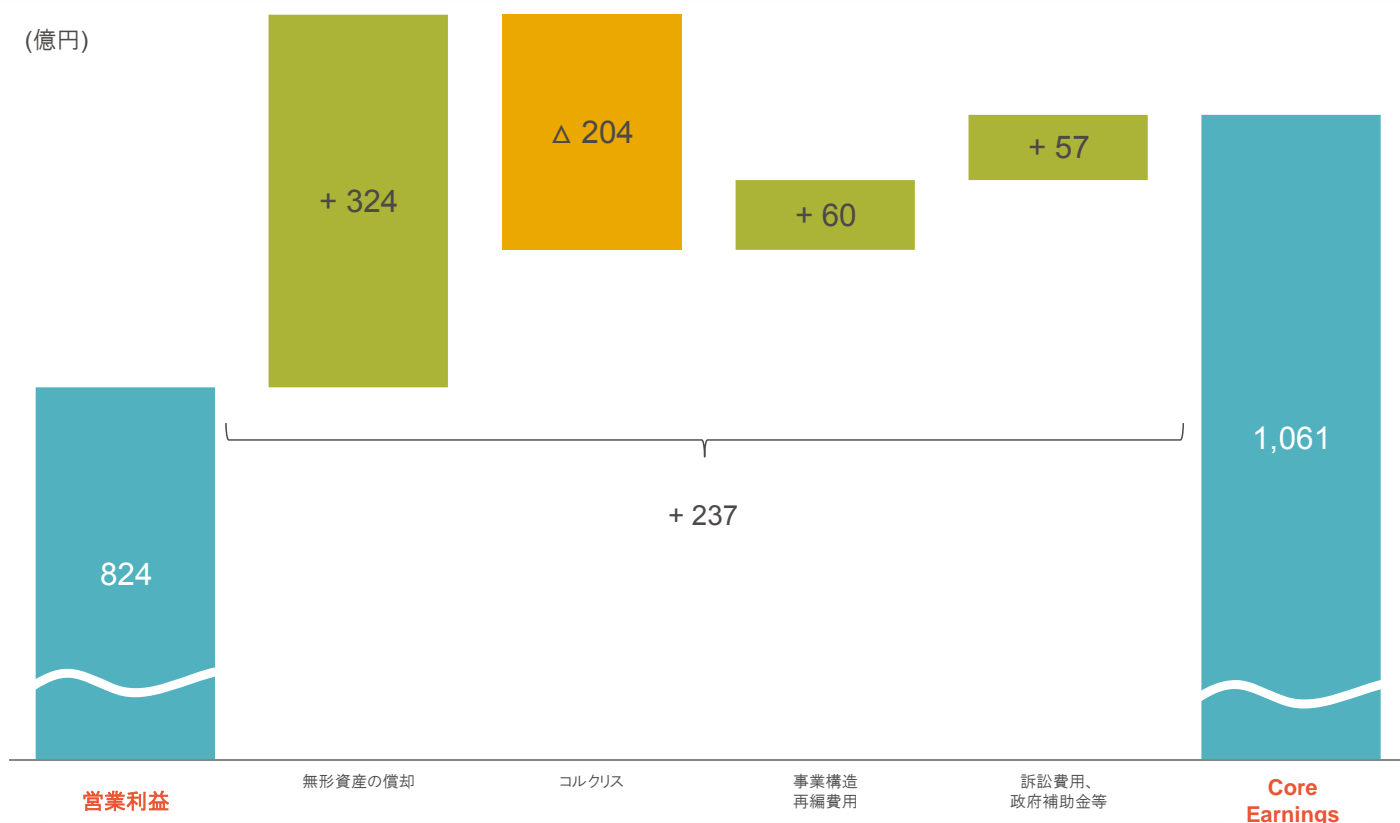


## Appendix 1. Core Earnings および実質的な成長の詳細

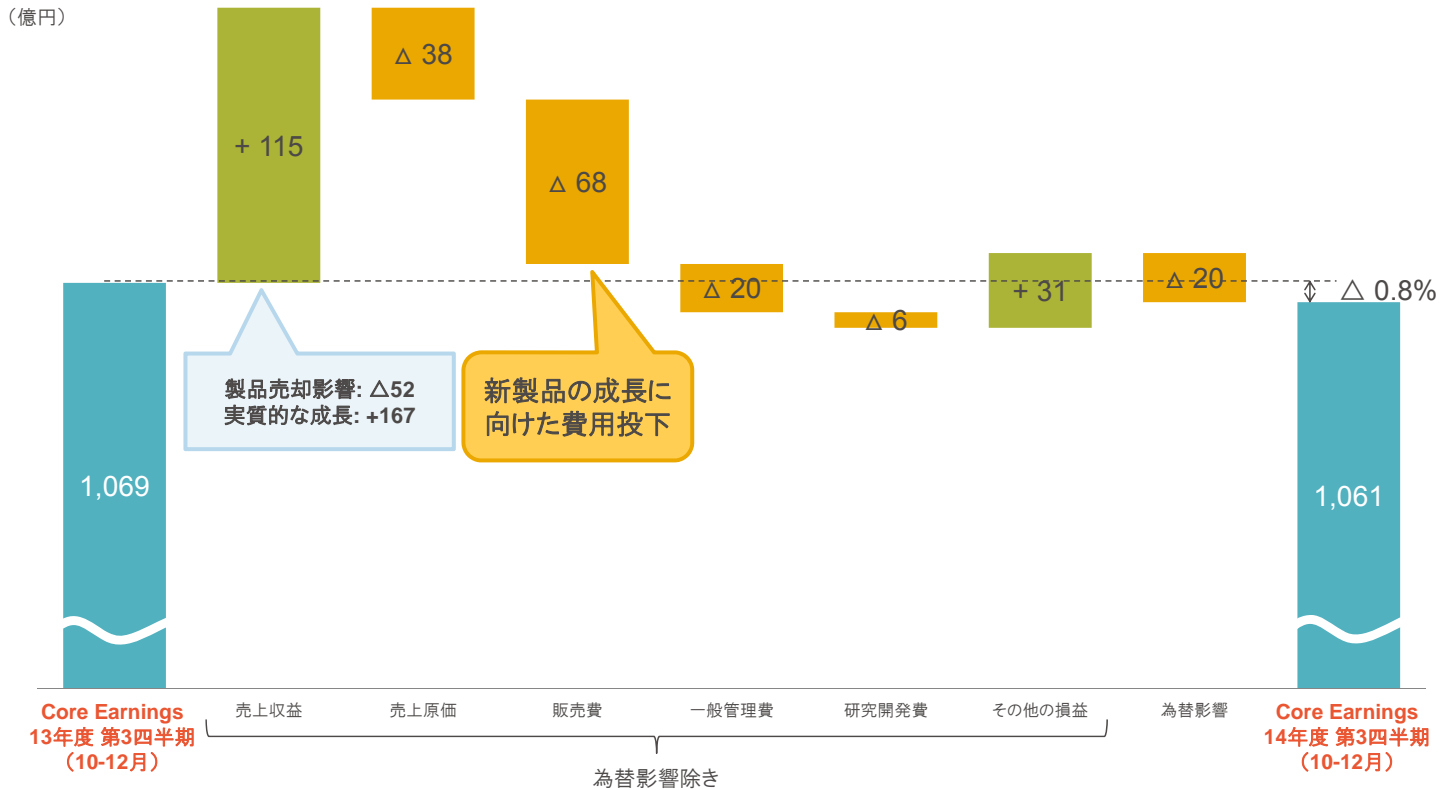


営業利益からの調整項目	Note
1 企業買収およびライセンス導入にともない認識した無形資産の償却費	以下にかかる償却費 <ul style="list-style-type: none"> <li>企業買収にともない認識した上市後製品に係る無形資産</li> <li>ライセンス導入にともない生じる契約一時金およびマイルストーン(ステージアップ・販売承認申請・販売承認取得等)に係る無形資産</li> <li>基盤技術に係る無形資産</li> </ul>
2 企業買収およびライセンス導入にともない認識した無形資産の減損損失	以下にかかる減損損失 <ul style="list-style-type: none"> <li>企業買収およびライセンス導入にともない認識した無形資産(上市後製品および研究開発中のパイプライン)</li> <li>のれん</li> </ul>
3 企業買収に係る上記以外の会計処理の影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>棚卸資産の時価評価にともなう評価差額の償却費</li> <li>条件付対価に係る公正価値変動額</li> </ul>
4 事業、関係会社等の処分に係る損益	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業、関係会社、遊休不動産および有価証券(*)の処分に係る損益</li> <li>(*)有価証券の処分に係る損益は金融損益であるため、Core純利益での調整項目</li> </ul>
5 事業構造再編に関する費用	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業統合費用</li> <li>導入費用</li> </ul>
6 主要な訴訟に係る和解金/賠償金および金額影響の大きい訴訟費用(弁護士費用)等	<ul style="list-style-type: none"> <li>ピオグリタゾン製剤に起因する製造物責任訴訟費用(弁護士費用)等</li> </ul>
7 定常的なビジネスに関連しない特殊な事項に係る損益	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然災害等の、会社の制御を超えて発生する管理不能な損益</li> <li>製品回収にかかる費用</li> <li>政府補助金</li> <li>法人所得税の還付金等</li> </ul>

## 営業利益からCore Earningsへの調整 (2014年度 第3四半期)



# Core Earnings 対前年比較 (2014年度 第3四半期 対 2013年度 第3四半期)

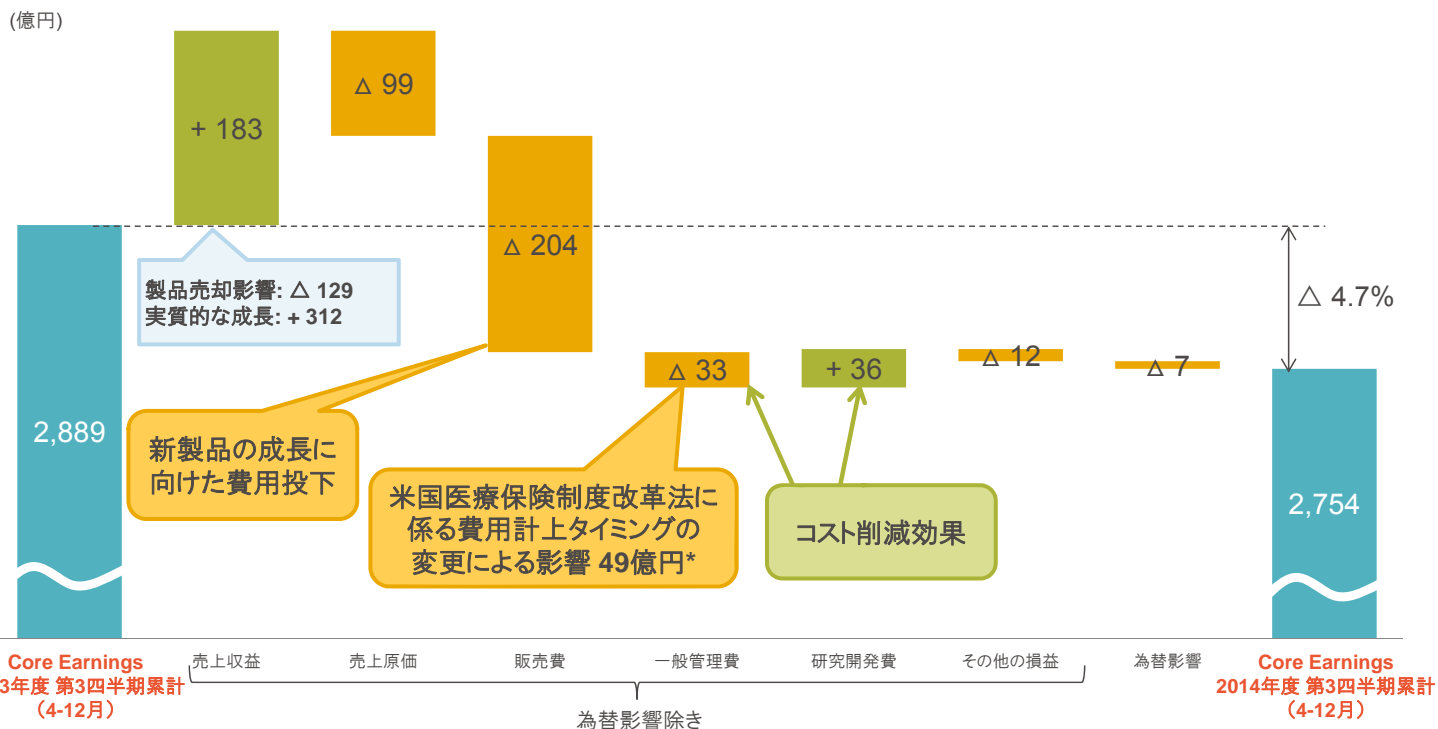


## 財務ベースの成長率と実質的な成長率の調整表 (第3四半期)



	第3四半期(10-12月) 14年度対13年度						
	財務ベース	調整項目		Core P/L ベースの増減率	為替影響	製品売却	実質的な成長率
		企業買収およびライセンスに係る無形資産関連費用	遊休不動産売却・事業構造再編費用等				
売上収益	+ 6.5%			+ 6.5%	$\Delta$ 3.9%	+ 1.2%	+ 3.7%
販売費	+ 14.1%			+ 14.1%	$\Delta$ 7.3%		+ 6.9%
一般管理費	+ 6.8%		+ 0.2%	+ 7.0%	$\Delta$ 1.5%		+ 5.4%
研究開発費	+ 11.6%	$\Delta$ 2.4%		+ 9.2%	$\Delta$ 8.4%		+ 0.8%
営業利益	+ 23.3%	+ 39.8%	$\Delta$ 63.9%	$\Delta$ 0.8%	+ 2.2%	+ 3.6%	+ 5.0%
				<b>Core Earnings</b>			

# Core Earnings 対前年比較 (2014年度 第3四半期累計 対 2013年度 第3四半期累計)

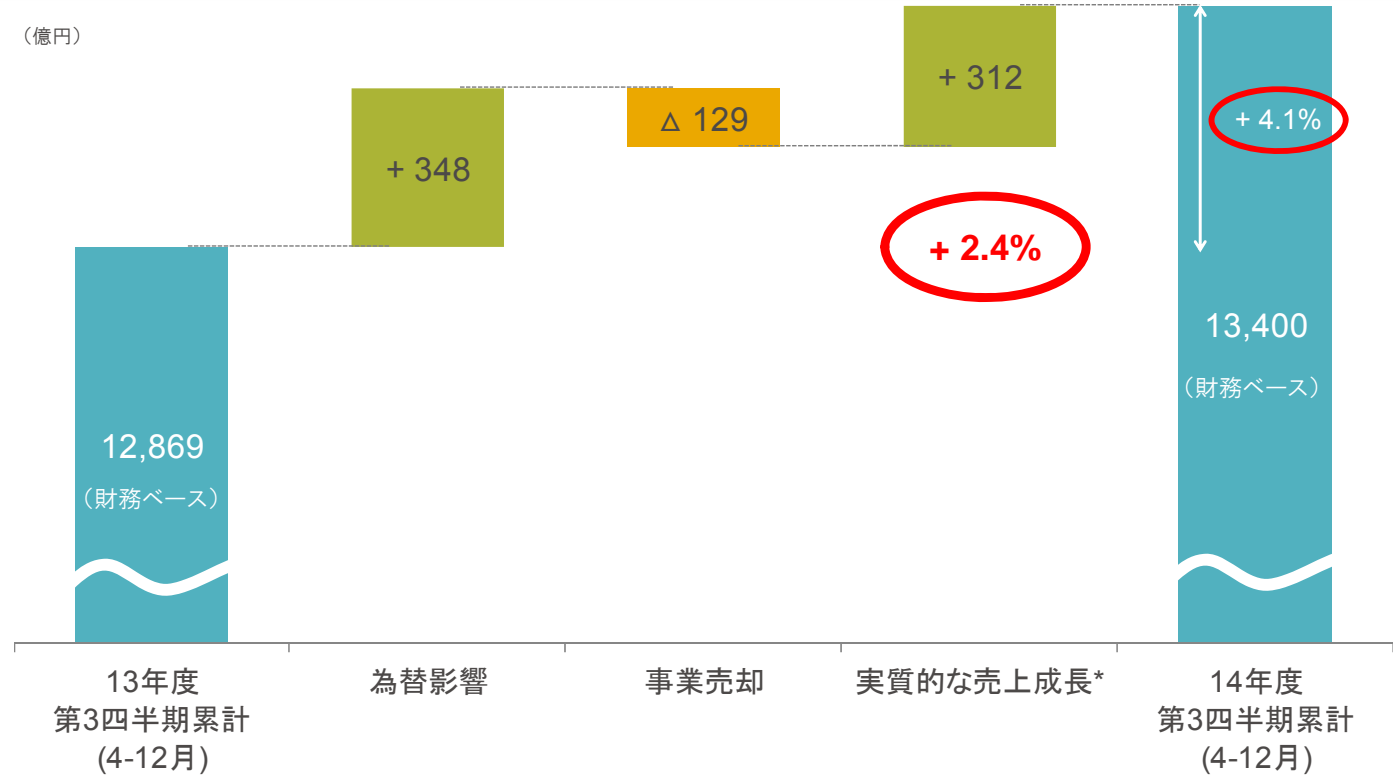


\* IRS(米国内国歳入庁)により2014年7月28日に発表された法令に基づく医療保険制度改革法にかかる費用として49億円(過年度分を含む)が、2014年度第3四半期累計の一般管理費に一時的要因として計上されています。



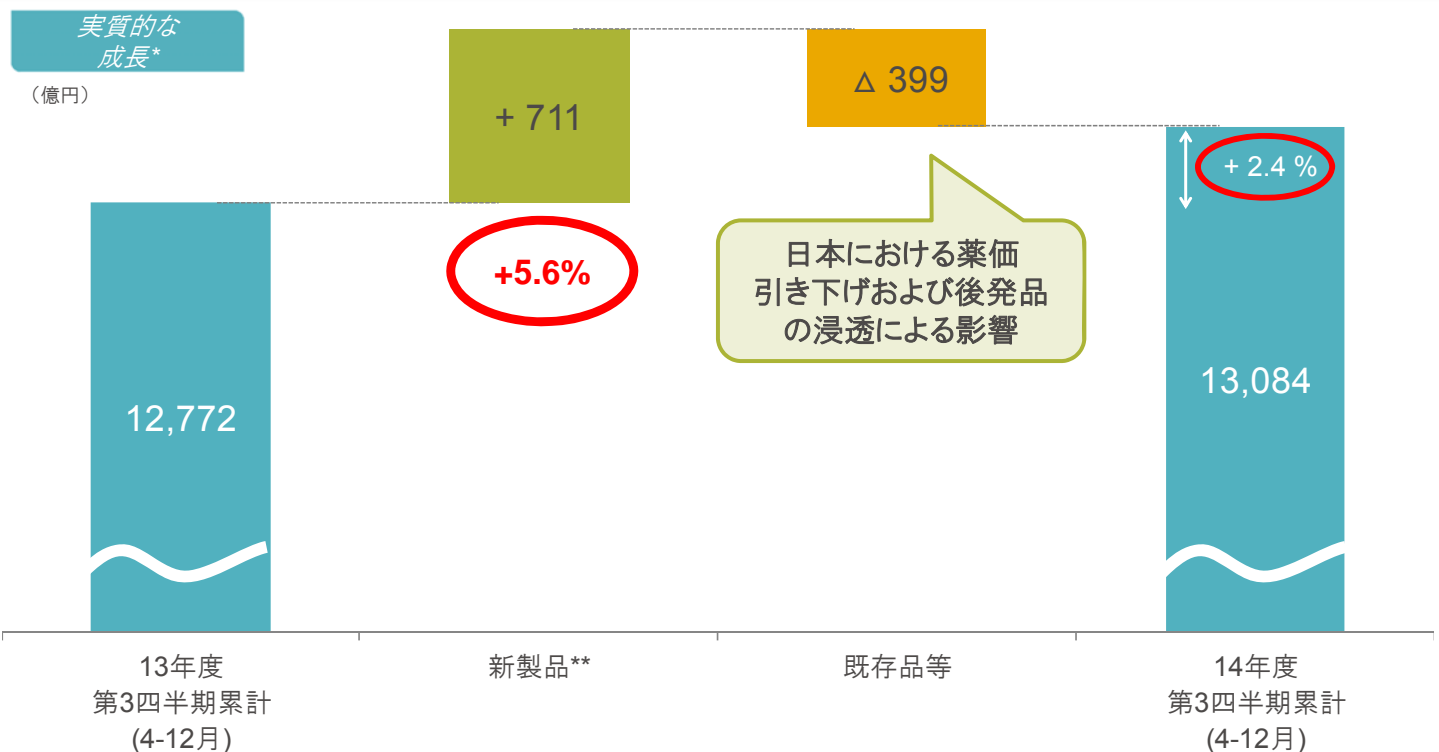
## Appendix 2. 連結業績 [2014年度 第3四半期累計(4-12月)]

# 実質的な売上成長率 +2.4%



\* 実質的な成長は、為替影響および、製品売却・企業買収・特殊要因による影響を控除して算定しています。

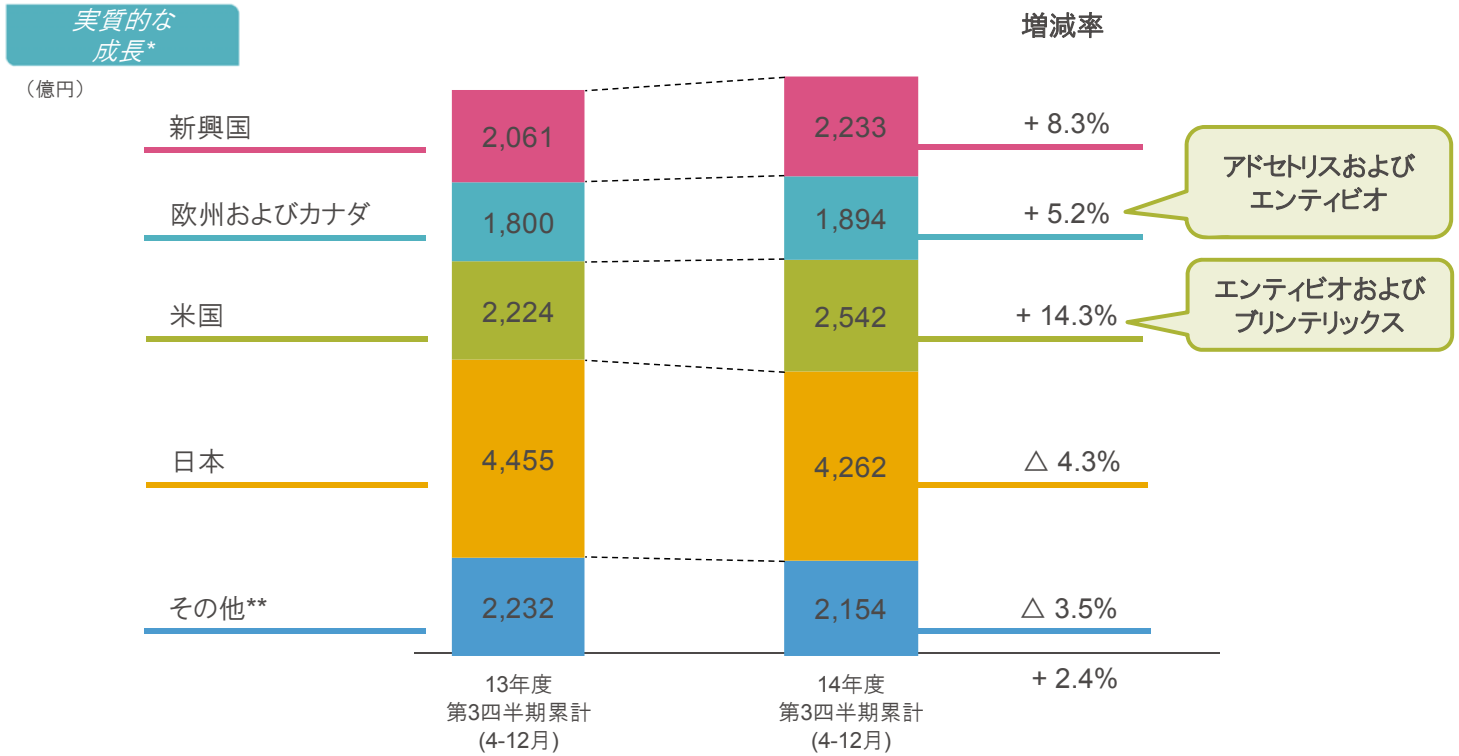
# 新製品の伸長が成長を牽引



\* 実質的な成長は、為替影響および、製品売却・企業買収・特殊要因による影響を控除して算定しています。

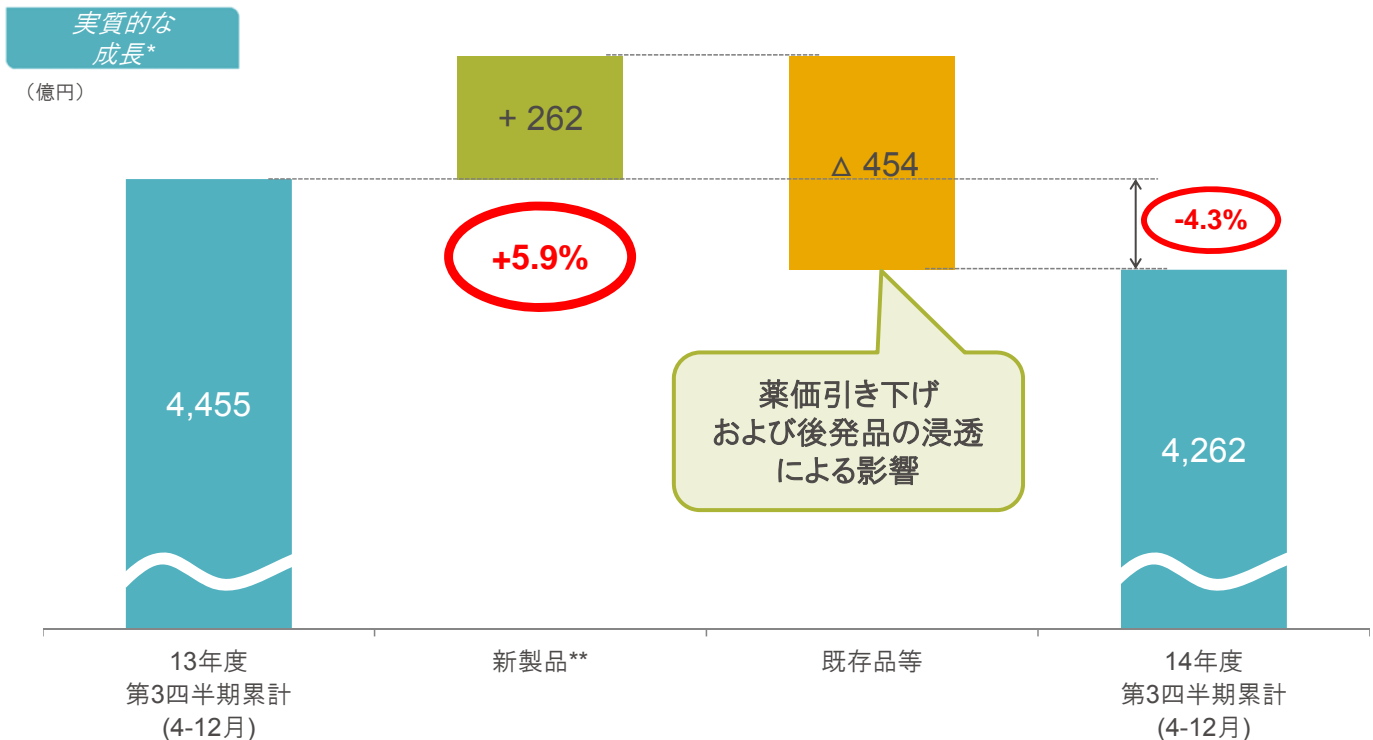
\*\* 新製品とは、発売後5年以内の製品(既存品との合剤・剤型変更を除く)を指します(デクスラント、ユーロリック、ネシーナ、アジルバ、アドセトリス、プリンテリックス、エンティピオ、コントレブ等)。

# 地域別売上収益 米国・欧州における堅調な伸長



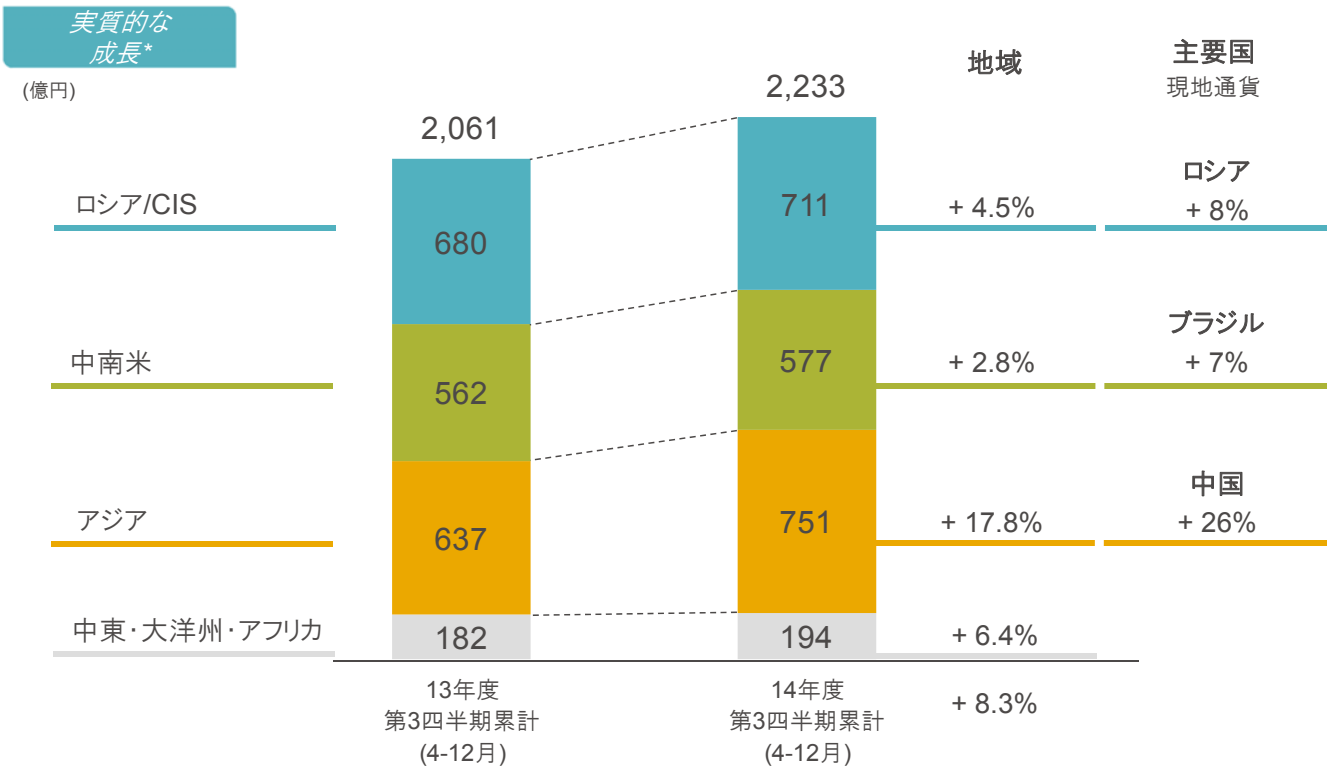
\*実質的な成長は、為替影響および、製品売却・企業買収・特殊要因による影響を控除して算定しています。  
\*\*その他には、主として知的財産権収益およびヘルスケア事業が含まれています。

# (日本)薬価引き下げおよび後発品の浸透による影響が 新製品の伸長を上回る



\*実質的な成長は、為替影響および、製品売却・企業買収・特殊要因による影響を控除して算定しています。  
\*\*新製品とは、発売後5年以内の製品(既存品との合剤・剤型変更を除く)を指します(ネシーナ、アジルバ、アドセトリス等)。

# 新興国地域別売上収益 – 成長のドライバー



\*実質的な成長は、為替影響および、製品売却・企業買収・特殊要因による影響を控除して算定しています。

## 売上収益Top 10品目 (第3四半期累計):



億円		第3四半期累計(4-12月)			実質的な成長率*
製品名	疾患領域	13年度	14年度	伸長率	
ベルケイド	オンコロジー	1,013	1,144	+ 12.8%	+ 5.2%
カンデサルタン	代謝性・循環器系疾患	1,242	1,018	△ 18.0%	△ 18.9%
リュープロレリン	オンコロジー	981	946	△ 3.6%	△ 6.1%
ランソプラゾール	消化器系疾患	912	781	△ 14.3%	△ 17.0%
パントプラゾール	消化器系疾患	777	776	△ 0.2%	△ 4.7%
<u>デクスラント</u>	消化器系疾患	362	452	+ 24.7%	+ 16.6%
<u>コルクリス</u>	代謝性・循環器系疾患	381	437	+ 14.6%	+ 7.6%
<u>ネシーナ</u>	代謝性・循環器系疾患	310	339	+ 9.3%	+ 8.2%
<u>アジルバ</u>	代謝性・循環器系疾患	159	330	+ 107.9%	+ 107.9%
アクトス	代謝性・循環器系疾患	296	253	△ 14.5%	△ 17.4%
その他		6,436	6,924	+ 7.6%	+ 8.2%
<b>売上高合計</b>		<b>12,869</b>	<b>13,400</b>	<b>+ 4.1%</b>	<b>+ 2.4%</b>

下線の品目は新製品を指します。

\*実質的な成長は、為替影響および、製品売却・企業買収・特殊要因による影響を控除して算定しています。

# 損益計算書 - 財務ベース



億円	第3四半期累計 (4-12月)		増減
	13年度	14年度	
売上収益	12,869	13,400	+ 4.1%
売上総利益	9,173	9,536	+ 4.0%
対売上収益比率	71.3%	71.2%	△ 0.1 pts
販売費及び一般管理費	(3,989)	(4,380)	+ 9.8%
対売上収益比率	31.0%	32.7%	+ 1.7 pts
研究開発費	(2,390)	(2,492)	+ 4.3%
対売上収益比率	18.6%	18.6%	+ 0.0 pts
その他収益	145	947	-
その他費用 (製品に係る無形資産償却費及び減損損失を含む)	(1,172)	(1,619)	+ 38.1%
営業利益	1,767	1,991	+ 12.6%
対売上収益比率	13.7%	14.9%	+ 1.1 pts
当期利益	1,333	797	△ 40.2%
Core Earnings	2,889	2,754	△ 4.7%
対売上収益比率	22.5%	20.6%	△ 1.9 pts
EPS	169 円	101 円	△ 39.9%
Core EPS	246 円	214 円	△ 13.1%

[為替レート] 13年度 USD 99円、EUR 131円、14年度 USD 106円 EUR 140円

# バランスシート



億円	14年3月末	14年12月末	増減
非流動資産	29,766	29,496	△ 270
無形資産	11,356	10,582	△ 774
のれん	8,147	8,810	+ 663
流動資産	15,925	17,038	+ 1,113
現金及び現金同等物*	8,057	7,856	△ 201
資産合計	45,691	46,534	+ 842
非流動負債	12,258	12,426	+ 168
社債及び借入金	7,046	7,311	+ 265
流動負債	8,028	8,379	+ 352
社債及び借入金	1,554	1,818	+ 264
負債合計	20,285	20,805	+ 520
資本合計	25,406	25,729	+ 322
自己資本比率**	54.1%	53.8%	△ 0.3 pts

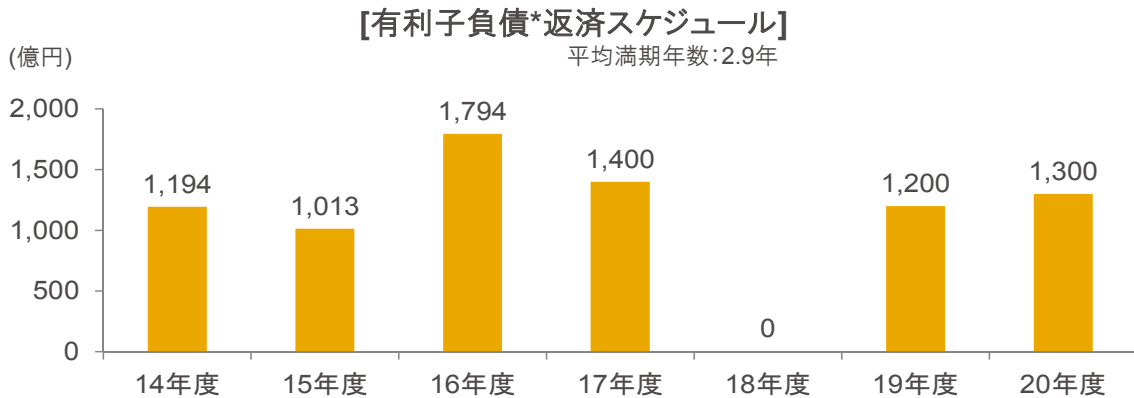
\* 現金及び現金同等物は、期末日から1年以内に償還期限が到来する短期投資を含みます。

\*\* 自己資本比率は、資産合計に対する、資本合計から非支配持分等を控除して算定した親会社所有者に帰属する持分の比率を指します。





	14年3月末	14年12月末
総有利子負債*	△ 7,903	△ 7,908
現金及び現金同等物**	8,057	7,856
ネットキャッシュ / 純有利子負債	154	△ 52
純有利子負債 / EBITDA比率	0.04	△ 0.01



\* 有利子負債は、為替レートをヘッジしたベースでの残高を記載しています。  
\*\* 現金及び現金同等物は、期末日から1年以内に償還期限が到来する短期投資を含みます。

## コルクリス業績影響



- 競合他社のコルヒチン製剤の上市に伴い、コルクリスに係る無形資産の減損損失を計上し、これを上回る条件付対価\*の取崩益を計上したことから、純損益は益影響が発生。
- その他の一時的影響として返品調整とTRO引当\*\*を計上。

\* コルクリスの将来売上見込にもとづく支払ロイヤルティの公正価値を負債計上したもの  
\*\* 競合他社のコルヒチン製剤に対する一方的緊急差止命令(TRO)期間中の損失を補償する引当

- Core Earnings除外影響額は204億円
- Core net profit除外影響額は292億円

億円	第3四半期累計(4-12月)		
	営業利益	税金費用等	当期利益
売上収益 (返品調整)	△ 19	7	△ 12
無形資産の減損損失	△ 305	109	△ 197
企業結合による条件付対価の取崩益*	564	△ 40	524
TRO引当**	△ 54	19	△ 35
合計	185	94	280

} 204      } 292



武田薬品工業株式会社